

都市大サロン用アブストラクト（2016年12月9日・金、30分程度、QA込み）

「携帯電話等の運用データを用いた人の動きに関する研究」

今井龍一（東京都市大学 工学部 都市工学科 准教授）

安心・安全で快適な生活を送るには、国土空間をどのように計測して管理すればよいか？

人や車などの都市活動（交通実態）をどのように分析して見える化すればよいか？

このような各種資産を継続的に活用した都市経営をどのように推進すればよいか？

これらの実現に向けて、共通認識をもって国土空間や都市活動の現状を知る、潜在する事象を発見する、将来を予測する、諸課題への対策を講ずることができる「都市活動の分析・見える化の研究」および「国土空間の計測・管理手法の研究」に取り組んでいます。

今回の話題提供では、「都市活動の分析・見える化の研究」として、携帯電話の運用データを元にした人の流動が把握できる人口流動統計に係わる研究を中心に、交通関連ビッグデータの取り組みをご紹介します。また、お時間が許すようなら、「国土空間の計測・管理手法の研究」として、UAV（Unmanned Aerial Vehicle）プラットフォームを用いた計測処理技術の開発の取り組みをご紹介します。